

第2期長浜市国民健康保険データヘルス計画 実施成果と取組内容

実施成果

1-1 特定健診

【評価指標】S:目標達成 A:改善 B:大きな変化なし C:悪化

評価対象は第2期データヘルス計画策定年度 H30年度

目標項目	計画策定時 H27	H30	現状値 R1	R2	R3	R4	最終目標R5	評価	評価と課題
特定健診受診率	33.2% (6,538人)	39.8% (6,975人)	41.4% (7,092人)	29.4% (5,017人)	37.1% (6,176人)	36.3% (5,815人)	60%	C	コロナの影響により、令和2年度の受診率は大幅に減少したが、その後は徐々に回復傾向にある。 継続受診率、40～49歳受診率は増加傾向であるが、新規受診者の割合、3年連続未受診者割合、50～59歳受診率が減少傾向となっている。対象者にあった受診勧奨、一度受診した人を継続受診させる取組が必要。 健診未受診かつ生活習慣病治療なし（レセプトなし）者の割合が横ばい状態である。健康状態不明の未受診者を受診につなげる対策が必要。 R5年度より対象者全員受診費用を無料とし、より受診しやすい環境づくりを進める。
継続受診率	65.5% (4,349人)	74.6% (4,670人)	75.4% (5,258人)	59.5% (4,223人)	77.3% (3,876人)		75%	S	
新規受診者割合	22% (1,441人)	18.1% (1,259人)	15.6% (1,106人)	10.7% (537人)	16.9% (1,042人)		25%	C	
3年連続未受診者割合	49.0% (9,640人)	43.6% (7,646人)	41.1% (7,039人)	41.9% (7,144人)	44.0% (7,324人)		40%以下	C	
40～49歳受診率	18.0% (424人)	24.7% (499人)	25.5% (501人)	16.9% (327人)	25.5% (481人)		20%	S	
50～59歳受診率	24.7% (639人)	27.5% (604人)	30.8% (648人)	20.4% (426人)	26.8% (562人)		28.5%	C	
特定健診未受診者かつ 医療機関受診なし者の割合	31.1% (4,093人)	32.2% (3,405人)	32.6% (3,272人)	31.9% (3,839人)	31.5% (3,306人)		28%以下	A	
情報提供実施率	100% (6,538人)	100% (6,975人)	100% (7,092人)	100% (5,017人)	100% (6,176人)		100%	S	
(参考)特定健診対象者数	19,692人	17,525人	17,131人	17,068人	16,664人	16,010人			

※R4は予測値。法定報告後確定。

1-2 特定保健指導

目標項目	計画策定時 H27	H30	現状値 R1	R2	R3	R4	最終目標R5	評価	評価と課題
特定保健指導実施（終了）率	40% (229人)	37.2% (264人)	45.9% (324人)	57.2% (289人)	55.8% (359人)	52.1% (354人)	60%	A	コロナの影響もあり対象者は一旦減少したが、戻りつつある。保健指導率は、上昇しているが目標値までには達していない。今後、特定健診受診率が上昇するとともに、保健指導対象者も増加すると考えられるが、保健指導実施（終了）率を下げないように、60%を維持できるようにしていく必要がある。また、保健指導を受けた人の前年度の結果から、保健指導の効果についても評価する必要がある。
(参考)特定保健指導対象者数	573人	710人	706人	505人	643人	679人			

※R4は初回指導率。

2 がん検診の受診率の向上

目標項目	計画策定時 H28	H30	現状値 R1	R2	R3	R4	最終目標R5	評価	評価と課題
胃がん検診	8.28%	9.05%	8.64% (1,629人)	5.88% (1,100人)	8.15% (1,513人)	8.44% (1,515人)	10.28%	B	各がん検診の受診率は、コロナの影響もあり令和2年度は受診率は大幅に落ちたが、その後徐々に回復している。 がん対策は当市の死亡原因第1位で大きな課題であるので、早期発見・早期治療につなげるために定期的に検診を受ける習慣を身に着ける人を増やす取組が必要である。
大腸がん検診	13.72%	14.56%	14.04% (2,649人)	11.29% (2111)	13.34% (2,477人)	14.91% (2,676人)	15.72%	A	
肺がん検診	5.17%	6.38%	6.85% (1,292人)	4.95% (925人)	6.3% (1,170人)	7.15% (1,283人)	7.17%	A	
乳がん検診	18.92%	20.77%	21.94% (1,070人)	18.19% (696人)	19.08% (1,152人)	21.83% (899人)	20.92%	S	
子宮頸がん検診	13.16%	14.67%	15.26% (834人)	12.39% (534人)	12.92% (882人)	15.27% (746人)	15.16%	S	

3 喫煙・運動不足

目標項目		計画策定時 H27	H30	現状値 R1	R2	R3	R4	最終目標R5	評価	評価と課題
喫煙者の割合の減少	男性	24.4% (662人)	24.3% (716人)	23.1% (698人)	22.3% (514人)	21.6% (622人)	22.0% (609人)	22.0%	S	男性の喫煙率は減少傾向、女性の喫煙率は横ばいである。保健指導対象者には指導を行っている。 各機関と連携しながら、たばこによる健康リスクについて市民が常に意識できる環境づくりが必要である。 また、女性の喫煙は本人以外に胎児への影響もあるため、若い世代への禁煙啓発も行っていく。
	女性	3.4% (131人)	3.2% (129人)	3.9% (158人)	3.1% (91人)	3.4% (127人)	3.6% (126人)	3.4%	B	
1日30分以上の運動習慣を継続している人の割合の増加	男性	37% (1,005人)	35.4% (1,044人)	35.5% (1,074人)	37.1% (814人)	38.2% (1,026人)	39.2% (1,085人)	45.0%	A	1日30分以上の運動習慣がある人は増加している。 男女とも運動継続者の割合はやや増加傾向であるが、1日1時間以上の身体活動をしている人の割合は50%に到達していない。 様々な取り組みを通じ、生活習慣病予防のため日常生活の中で体を動かすことの大切さ（+10分）を周知啓発する必要がある。
	女性	34.3% (1,311人)	30.8% (1,244人)	30.3% (1,238人)	30.7% (868人)	30.2% (1,054人)	33.2% (1,172人)	40.0%	A	
1日1時間以上の身体活動をしている人の割合の増加	男性	47.4% (1,286人)	44.9% (1,323人)	44.3% (1,342人)	44.8% (981人)	44.7% (1,200人)	45.9% (1,270人)	55.0%	A	
	女性	49.6% (1,896人)	43.9% (1,772人)	41.8% (1,706人)	42.3% (1,195人)	42.5% (1,483人)	43.8% (1,546人)	60.0%	B	

※R2年度からはFOCUSから出典。R4は予測値。法定報告後確定。

4 心疾患・脳卒中など重症化した疾患の予防

目標項目		計画策定時 H27	H30	現状値 R1	R2	R3	R4	最終目標R5	評価	評価と課題
特定健診の結果、受診勧奨判定値以上の人のうち医療機関を受診した人の割合		37.70%	49.9%	51.9%	64.5%	64.0%	66.6%	60.0%	S	受診勧奨判定値の人の医療機関受診率は、手紙や電話、訪問での保健指導を行った結果、目標を達成した。病気を発症するリスクの高い人を受診に確実につなげるために、今後はハイリスク者の受診率の向上が課題である。 男女の収縮期血圧、男性のLDLコレステロール有所見率は、目標値以下ではあるがH30年度と比較して増加している。循環器疾患や脳血管疾患の基礎疾患である高血圧や高脂血症対策は引き続き必要である。
受診勧奨判定値以上の人で、ハイリスク者のうち医療機関を受診した人の割合		52.00%	58.9%	48.3%	63.4%	67.3%	67.5%	80.0%	A	
上記ハイリスク者のうち、一定期間後に医療機関受診が確認できなかった人への勧奨・保健指導実施率		60.90%	97.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	S	
有所見率 (保健指導域以上)収縮期血圧	男性	50.00%	47.7%	46.1%	51.0%	51.2%	52.8%	55%以下	S	
	女性	45.80%	42.0%	39.7%	45.5%	44.2%	45.4%	50%以下	S	
有所見率 (保健指導域以上)LDLコレステロール	男性	44.10%	39.5%	39.4%	42.4%	43.1%	41.3%	48%以下	S	
	女性	54.80%	48.9%	49.0%	49.7%	51.2%	48.5%	58%以下	S	

※R4は予測値。法定報告後確定。

目標項目		計画策定時 H27	H30	現状値 R1	R2	R3	R4	最終目標R5	評価	評価と課題
糖尿病性腎症重症化予防 医療機関受診率		実施なし	83.7% (62人)	75% (42人)	76.3% (61人)	74.0% (87人)	75.7% (84人)	90%	C	糖尿病腎症重症化予防の医療機関受診勧奨率は目標値にまで達していない。訪問や電話での勧奨はしているものの、医療機関受診につながっていない現状があり課題である。
健診当日血圧高値者の指導率		実施なし	100% (129人)	100% (144人)	100% (146人)	100% (129人)	100% (199人)	100%	S	

5 医療費適正化

目標項目		計画策定時 H28	H30	現状値 R1	R2	R3	R4	最終目標 R5	評価	評価と課題
ジェネリック医薬品使用率		69.4%	75.7%	78.4%	80.8%	80.1%	81.3%	80%	S	ジェネリック医薬品使用率は年々増加しているが、新規国保加入者には今後も啓発チラシによる使用促進が必要。 重複頻回受診・重複服薬者への健康相談事業は、大きな変化がみられなかった。より効果的なアプローチについて検討が必要。
重複頻回受診・重複服薬者で改善がみられたものの割合		33.3% (1人)	53.3% (8人)	40% (2人)	0% (0人)	50% (3人)	40% (2人)	60%	B	
(参考)重複頻回受診・重複服薬者 訪問対象者		3人	15人	5人	7人	6人	5人			

具体的な取り組み

1-1 特定健診

【評価指標】 S:目標達成 A:改善 B:大きな変化なし C:悪化

当初計画		実施状況						評価
取組名	目標	取組の概要（H30～R4）	H30	R1	R2	R3	R4	
啓発チラシの送付	年3回以上	- 新規国保加入者に啓発チラシを配布した。 - ジェネリック差額通知発送時に啓発チラシを同封した。 - 市民病院および日赤病院に啓発チラシの配布を依頼した。	3回	3回	2回	4回	2回	B
啓発ポスターの掲示	年1回	市内の特定健診実施医療機関や公共施設に啓発ポスターを掲示した。	1回 (80カ所)	1回 (81カ所)	0回	1回 (101カ所)	0回	B
受けやすい健診の場づくり	年52回	総合健診の日程や場所を見直し、受診しやすい健診の場を提供した。	58回	55回	42回	51回	51回	B
継続受診へのインセンティブ	通年	前年度特定健診受診者の健診費用を無料とすることで、継続受診を促した（R1～）。 ※R5年度より対象者全員無料。	未実施	実施した	実施した	実施した	実施した	S
健診の周知	年3回以上	- 健康づくり日程表の全戸配布を実施した。 - 自治会に健診情報の回覧を依頼した。また、健康推進員や各地域づくり協議会と連携しイベント等での受診勧奨を実施した。	3回	3回	15回	20回	62回	S
未受診者への勧奨	年3回以上	- 受診歴や問診票の回答から対象者特性を絞り込み、はがきによる受診勧奨を行った。 - 電話による受診勧奨を行った。 - 通院治療中の方へ治療中患者情報提供の勧奨を行った。 - 地域新聞に啓発広告を掲載した（R1～）。	4回	7回	1回	7回	4回	A

1-2 特定保健指導

当初計画		実施状況						評価
取組名	目標	取組の概要（H30～R4）	H30	R1	R2	R3	R4	
指導を受けやすい環境づくり	通年	保健指導の委託や初回面接の分割実施を行う事により、より対象者が利用しやすい体制を整備した。	初回面接 332回	初回面接 390回	初回面接 357回	初回面接 395回	初回面接 379回	B
効果的な指導の実施	年1回 以上	検査結果の読み取りについての勉強会や、講師を招いて研修会を実施した。	7回	3回	10回	8回	7回	A

2 がん検診の受診率の向上

当初計画		実施状況						評価
取組名	目標	取組の概要（H30～R4）	H30	R1	R2	R3	R4	
特定健診とがん検診の同時実施	年52回	特定健診を集団で実施する際に、がん検診を同時に実施することで、受けやすい環境の設定ができた。	年51回	年50回	年39回	年49回	年51回	A
特定健診受診勧奨時のがん検診案内	年3回	・特定健診未受診者を対象に電話勧奨を行う際に、がん検診の受診勧奨を行い、がん検診の受診率の向上を図った。 ・受診券とともに、記入を簡素化した総合健診申込書を送付し、申込みしやすくすることで、特定健診およびがん検診の受診促進を図った。 ・国保加入時に特定健診・がん検診のパンフレットを配布し、特定健診およびがん検診の受診促進を図った。	年3回	年3回	年1回	年3回	年3回	S
がん検診無料クーポン券の配布	年1回	特定の年齢に達した市民に対して、がん検診無料クーポン券を交付し、がん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及啓発を行った。	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	S

当初計画		実施状況						評価
取組名	目標	取組の概要（H30～R4）	H30	R1	R2	R3	R4	
がん検診受診の 機運向上	年3回	・ピンクリボン長浜実行委員会によるイベントにて、乳がんの正しい知識と検診の必要性の啓発、同時実施でホテルでゆったり乳がん・子宮頸がん検診を実施した。 ・がん相談支援センター主催のがんフォーラムで、受診率向上のために協定を結んでいる企業とともにがん予防啓発を実施した。 ・長浜市内の図書館にて、がん相談支援センターと受診率向上のために協定を結んでいる企業とともに、長浜市のがんの現状や検診の受診状況、予防法についての啓発を実施した。	年3回	年3回	年2回	年2回	年2回	A

3 喫煙・運動不足

当初計画		実施状況						評価
取組名	目標	取組の概要（H30～R1）	H30	R1	R2	R3	R4	
禁煙啓発 受動喫煙防止啓 発	COPD啓発 年1回	前年度特定健診受診者のうち、問診票で喫煙していると回答した被保険者にCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の啓発リーフレットを送付し、COPDの啓発と生活習慣の見直しの機会づくりを図った。	1回	1回	1回	1回	1回	S
	健康被害 全般の啓発 年3回以上	・市広報、ホームページ、健康づくり日程表、地区の健康イベント、健康推進員講座にて、喫煙や受動喫煙による健康への影響などについて情報提供し、禁煙啓発を行った。 ・市内小中学校への禁煙啓発媒体の貸出しを行った。 ・令和2年度より新型コロナウイルスの感染拡大に伴いイベント中止、対面での機会が減少した。展示形式のイベント等にて、パネルを活用した啓発を行ったり、買物の場での健康づくり啓発の場で、禁煙についてもあわせて説明するなど状況にあった取組みを実施した。	18回	22回	11回	10回	21回	S

受動喫煙を防止する環境づくり	年2回以上	・R2年4月1日に改正健康増進法が全面施行されるのに合わせ、各所管施設（公園等）にて適切な受動喫煙対策がとられるよう関係課との協議・問合せ相談及び各施設所管課あてに情報提供を実施した。 ・自治会長あてに各字の集会所等にて適切な受動喫煙対策がとられるよう依頼文を送付した。随時相談対応を実施した。 - また、R3年には自治会に向けて屋外での受動喫煙対策についても協力依頼を行い、事例を通して望まない受動喫煙防止対策の促進を行った。 ・市ホームページや地域づくり協議会代表者会議にて、健康増進法改正による受動喫煙防止対策の重要性と取組方法について説明した。 ・R元年・2年を中心に周知啓発と同時に地域づくり協議会や市内事業所からの問合せに随時対応した。	9回	27回	19回	2回	3回	S
----------------	-------	--	----	-----	-----	----	----	---

当初計画		実施状況						評価
取組名	目標	取組の概要（H30～R4）	H30	R1	R2	R3	R4	
運動に取り組みやすい環境づくり	スポーツ 関連機関 との連携 年1回	・運動のきっかけづくりを行うため、市内スポーツクラブにウォーキングイベントや健康推進アプリ「ピワテク」紹介チラシを設置し、事業啓発を行った。 ・健康づくり団体や地域づくり協議会と連携し、ウォーキング参加者へ「ピワテク」の説明及び導入支援を行った。	1回	2回	0回	1回	1回	A
	運動習慣 定着事業 年1回	市民に楽しく運動に取り組んでもらうきっかけづくりとしてインセンティブとスマホアプリを取り入れた事業を展開した。H30年度はながはま健康ウォーク事業、R1年度はピワテク事業（地区イベント等での説明・導入支援、IOTリーダー養成講座）を実施した。R2年度からは長浜市独自イベントのピワテクチャレンジを毎年秋に実施し、新規ダウンロード及び利用の定着を図っている。	1回	2回	1回	1回	1回	S

4 心疾患・脳卒中など重症化した疾患の予防

当初計画		実施状況						評価
取組名	目標	取組の概要 (H30～R4)	H30	R1	R2	R3	R4	
医療受診勧奨判定値以上の人への医療受診勧奨	情報提供と受診報告書の送付を該当者全員に実施	総合健診での特定健診受診者に結果通知とともに、検査項目の詳細と重症化予防の必要性について説明したパンフレットを同封した。	全員に実施	全員に実施	全員に実施	全員に実施	全員に実施	S
	受診報告書送付後も医療受診していない人に保健指導および受診勧奨を該当者全員に実施	特定健診にて重症化するリスクが高い人（ハイリスク者）を対象に、電話・訪問・文書にて保健指導を行い、医療受診を勧奨した。	該当者全員に実施 (111回)	該当者全員に実施 (108回)	該当者全員に実施 (134回)	該当者全員に実施 (275回)	該当者全員に実施 (231回)	S
結果説明会	年15回	特定健診の結果説明と具体的な生活習慣改善にむけて、集団、個別で実施した。	17回	15回	8回	10回	10回	A
健康栄養相談	希望者全員に実施	希望者や医師からの指示があった対象者について、食事や運動などの生活習慣を改善するための支援を個別で実施した。	希望者全員に実施 (89回)	希望者全員に実施 (99回)	希望者全員に実施 (86回)	希望者全員に実施 (60回)	希望者全員に実施 (55回)	A
重症化予防事業	希望者全員に実施	治療中でない方も含めて重症化予防のため、生活改善のための保健指導を実施した。（健診当日血圧高値者への指導、地区保健師訪問指導、糖尿病性腎症重症化予防保健指導）	希望者全員に実施 (211回)	希望者全員に実施 (274回)	希望者全員に実施 (256回)	希望者全員に実施 (265回)	希望者全員に実施 (336回)	S

5、医療費適正化

当初計画		実施状況						評価
取組名	目標	取組の概要（H30～R1）	H30	R1	R2	R3	R4	
後発医薬品啓発活動	差額通知の送付 年4回以上	ジェネリック医薬品差額通知を送付し、先発医薬品から後発医薬品に変えた場合に、どれだけ自己負担額が下がるのかを通知した。	4回	4回	4回	4回	4回	S
	チラシ等による 使用促進 年2回以上	・国保証の更新時に啓発チラシおよび希望シールを同封し使用促進を実施した。 ・新規国保加入者に啓発チラシおよび希望シール配布し、使用促進を実施した。	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	S
健康相談	年1回	重複頻回受診・重複服薬者の受診記録から訪問対象者を選定し、健康相談業務を行い、必要に応じて主治医へ相談することなどを促した。	1回	1回	1回	1回	1回	S

